

町政報告

町会議員 高阪康彦

☆ご挨拶 明けましておめでとうござい
ます。本年も宜しくお願い申し上げます。

さて、現代はパソコン、スマホ等の普及により、いろんな情報を得たり共有する事が簡単に迅速に出来ます。IoT(インターネット・オブ・シングス)すべてがネットに繋がる社会がすぐにやってくるといわれ、AI(人工知能)の発達と併せ、私達には今迄に考えられなかった生活様式がやってくる。例えば無人タクシーなどは既に実験に入っています。IoT×AIは第四次産業革命と云われます。

本年は戌年です。犬は安産から物事が新しくスタートすると云う意味もあるそうです。本年が、この第四次産業革命を起爆材として益々経済活動が活発となり、私達の暮らしがより豊にならばと望んでいます。



◇又、蟹江町では5月に観光交流センター(仮称須成ミュージアム)が

オープンします。この施設は地域の観光資源を活用した拠点として、観光・産業の進捗と、地域の活性化や交流を図るものです。愛称は町民投票により「祭人(さいと)と名付けられました。

◇10月には多世代交流施設(旧福祉センター)が供用開始されます。町民の福祉の向上と健康増進、世代間の交流を通じた活力ある地域づくりを図ります。5月に愛称募集が行われます。どちらの施設も、**指定管理者制度**を導入する予定になっています。その運営については3月議会でも議論される予定です。

◇9月定例議会では主に▽平成28年度の各会計の決算を承認▽多世代交流施設請負工事契約7億4千3百4万円を可決 ○**全員協議会** 主に①学童保育を全学年において年間を通じて実施。

◇12月定例議会では主に▽観光交流センター・多世代交流施設の条例制定を可決 ○**全員協議会** 主に①同報無線の更新 ②国保制度改革に伴う町の経営方針などを論議。 詳しくは議会会だよりを